



湾岸・アラビア半島地域ニュース

イラク：米軍によるシリア領内攻撃に対する反応

(10月30日付サウト・アル・イラーク)

1. イラクのズィバーリー外相は、イラク政府は米軍による当該攻撃を非難する立場であること、両国国境を管理し、密入国の防止のため両国が一層協力していくことの重要性について述べた。そしてイラク・シリア両国間に横たわる国境問題に関して話し合いを進めていくとした。
2. 10月31日、アブドゥルハラフ内務省報道官は、イラクが直面している治安上の諸問題のほとんどは、イランとシリアとの国境問題に起因するものだと述べた。また先般の米軍による攻撃前、我々は、シリア側に対して同地にイラクでテロを敢行してきた「アブダディーヤ」を初めとするテロリスト達が集結している所以他们の身柄拘束を要請したが、シリア当局は結局何ら行動を起こさなかった。
3. 同地に対する攻撃は残念なことであり、多国籍軍に対して事実関係の究明を要請している。